



笠松エリアを おもてなし

名鉄ハイキングが開催されました

10月11日、柳津駅をスタートし、笠松駅を目指す約10.5kmのコースで、名鉄沿線ハイキング「笠松まち中“馬”ミュージアムと笠松刑務所矯正展」が開催されました。

秋晴れの良い天気恵まれ、県内外から約2,500人が笠松町内を歩き、町内の5か所で住民の皆さんによる心からのおもてなしをしました。

おもてなしの中心となったのは、町民有志の「かさまつ超おもてなし隊（小栗知津子代表）」のメンバーで、町外の人に笠松の良いところを知っていただき、楽しんでもらおうと、この日のために何度も会議を重ね、実現しました。

笠松の名所である鮎鮎街道や石畳、笠松陣屋跡では、説明看板を設置し、参加者に歴史の説明をしました。杉山邸では美濃縞の実演を披露したり、本町通りのお店屋さんには馬の絵などを飾ったり、参加者の目も楽しませました。鮎鮎街道や笠松みなと公園（あずまや）、笠松陣屋跡では笠松名物の物販やお茶などが振る舞われ、参加者の皆さんは笠松町内のコースを満喫されました。



鮎鮎街道碑北側でお茶などのおもてなし



馬の尻尾の毛をつないで作られたウェディングドレスを披露



本町通りにウィニーが登場



笠松湊と石畳の説明を聞く皆さん



杉山邸で美濃縞の実演を見物する皆さん



あずまやで笠松の名物を購入する皆さん